

## 92. 乳房腫瘍の血流量について

( $^{133}\text{Xe}$  clearance による測定)

昭和大学 放射線科

宗近 宏次 気駕 正巳  
外科  
清水 敬介 佐藤 正

〔結果〕

良性腫瘍 (28例)	平均血流量 (ml/100g/min)
乳 腺 炎 5例	13.12
乳 腺 症 6例	16.45
線維腺腫 17例	24.29
悪性腫瘍 (15例)	
髓様腺管癌 5例	20.10
乳頭腺管癌 7例	17.74
硬 性 癌 3例	7.22

〔目的〕

昨年の本学会において、腫瘍の良悪性で血流量に差が見られそうもないことを報告したが、更にその後、乳房腫瘍に限定して症例を加え、生検前に腫瘍の血流量を測定し、生検により得られた組織所見と対比し検討した。

〔方法〕

$^{133}\text{Xe}$  (0.1~0.2ml) を直接腫瘍に注入した後測定した  $^{133}\text{Xe}$  clearance curve から、first component の  $\frac{1}{2}$  時間を計測し、次式より算出した。

$$\text{血流量 (ml/100g/min)} = 100 \times \lambda \times \log_2 / T_{1/2}$$

(宜し  $\lambda$  は 1.0 とした)

〔結論〕

得られた値には症例により相当ばらつきがみられるが、良悪性では血流量に差は見られない。しかし、硬性癌では他の腫瘍に比べ血流量は少い。

〔考按〕

更に組織所見と対比し、検討を加える。